

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2019年6月29日(土)14:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 1 -

「歯根膜」を考える叢生の2症例

川口 孝

川口歯科医院

〒861-8039 熊本市東区長嶺南1-2-1 8 TEL 096-383-8118 Fax 096-383-8118

■抄録

前歯部叢生は機能的問題よりも、コンプレックスにより、しばしば患者来院の動機となる。今回、上顎前歯部叢生による審美障害を問題とする患者2名について、1) 歯根膜移動、2) 歯根膜維持保存、の2つを提示する。

1) 20歳女性。主訴は右下智歯疼痛腫張であった。消炎後同智歯抜歯を行い、創傷洗浄時に前歯部叢生の審美的・機能的問題と解決策を説明したところ、矯正治療を同意し、2006年8月4日、DBSによる矯正治療を開始した。6ヶ月経過の2007年2月5日、DBS装置除去、保定装置装着により矯正治療を完了し、メンテナンスに移行した。

2) 26歳男性、上顎前歯部叢生による審美障害を主訴に受診。治療に際し、治療期間、回数ともに確保困難で、補綴的解決を希望したため、説明と同意をへて、両側犬歯便宜抜去、両側側切歯ルート・プリザベーション法と、修復によりオールセラミック・ブリッジを装着し、メンテナンスに移行した。症例1)は治療終了後12年、症例2)は治療終了後3年経過した最近の状態を報告する。

演題発表内容に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はありません。